

第二会場

2014年1月7日(火) 第2会場(秋田大学工学資源部 1号館(共通321))		
【9題】司会: 呉 修一		
13:00-13:15	開口部を有するRC造建物の前面浸水深、移動・転倒条件と水平流体力の低減	松富英夫、○嶋津 朋、決得元基(秋田大学)
13:15-13:30	開口部を有するRC造建物に働く津波鉛直力の変化パターン	松富英夫、○長沼駿介、決得元基(秋田大学)
13:30-13:45	力の作用高さ、生存・枯死、成育場所からみた海岸黒松の津波耐力	松富英夫(秋田大学)、原田賢治(静岡大学)、○鴨澤明志、決得元基、嶋津 朋(秋田大学)
13:45-14:00	海岸クロマツの群生環境が倒伏限界モーメントに及ぼす影響	○今井健太郎(東北大学災害科学国際研究所)、原田賢治(静岡大学)、川口誠史(高知工科大)、野口宏典、坂本知己(森林総合研究所)、二宮栄一(高知県)、南幸弘(アジア航測)、今村文彦(東北大学災害科学国際研究所)
14:00-14:15	津波漂流物の捕捉機能を有する植栽の設計	○林晃大(東北大学工学研究科)、今井健太郎、今村文彦(東北大学災害科学国際研究所)
14:15-14:30	津波越流時の海岸堤防背後に生じる流れ場に関する水理模型実験	○三戸部 佑太、Nguyen Xuan Da, Mohammad Bagus Adityawan, 田中 仁(東北大学)
14:30-14:45	Validation of a numerical model for tsunami waves overtopping a coastal embankment	○Nguyen Xuan Dao, Mohammad Bagus Adityawan, Hitoshi Tanaka, Department of Civil Engineering, Tohoku University
14:45-15:00	東日本大震災における河川の津波遡上と地形、および浮遊砂特性との関係	○宗像佑磨 徳田直大 紺野和広 川越清樹(福島大学大学院共生システム理工学研究科)
15:00-15:15	Numerical analysis of tsunami wave intrusion into a river	○Min Roh, Mohammad Bagus Adityawan, 田中 仁(東北大学大学院工学研究科)
15:15-15:30	休憩	
15:30-17:15 公開シンポジウム(秋田大学工学資源部 1号館(共通127))		
17:30-19:30 懇親会(秋田大学学生会館「クレール」)		
2014年1月8日(水) 第2会場(秋田大学工学資源部 1号館(共通321))		
8:30-9:20 平成25年度自然災害研究協議会東北地区部会および日本自然災害学会東北支部総会		
【10題】司会:		
9:30-9:45	2013年7月山形集中豪雨被害の特徴～月布川を一例として～	○梅松理美(東北大学工学部)、呉修一、真野明、有働恵子(東北大学災害科学国際研究所)、田中仁(東北大学工学研究科)
9:45-10:00	2013年8月秋田・岩手豪雨災害の特徴	○呉修一、久利美和、安倍祥、Carine Yi、森口周二、有働恵子、真野明(東北大学災害科学国際研究所)
10:00-10:15	秋田豪雨災害を対象とした現地観測について ～2013年8月に発生した豪雨災害を対象として～	○齋藤 佑、福田喬太(秋田大学工学資源学部土木環境工学科)、渡辺一也(秋田大学工学資源学研究科土木環境工学専攻)
10:15-10:30	2013年8月9日秋田・岩手豪雨における鉄道盛土の被災事例と教訓	○松富英夫(秋田大学)、渡邊一也(秋田大学)、伊藤あさみ(秋田大学)、決得元基(秋田大学)
10:30-10:45	東北地方における短時間強雨の出現特性	○鈴木悠也、渡邊 明(福島大学共生システム理工学研究科)
10:45-11:00	河川流量の成分分離を利用した降雨流出モデルの構造およびパラメータの推定	○芳賀 健大朗(福島大学共生システム理工学類)、小林 秀平(福島大学共生システム理工学研究科)、横尾 善之(福島大学共生システム理工学類)
11:00-11:15	日本全国の山地流域の気候・地理条件と流況曲線形状の関係	○原田賢治・横尾善之(福島大学理工学群共生システム理工学類)
11:15-11:30	2001年から2013年にかけての仙台湾南部海岸における海底地形変化	○高村まや(東北大学工学部)、有働恵子、武田百合子、真野明(東北大学災害科学国際研究所)
11:30-11:45	Changes in morphology on Sendai Coast and its problems after the 2011 tsunami	○Vo Cong Hoang, Yuta Mitobe, Hitoshi Tanaka (Department of Civil and Environmental Engineering, Tohoku University)
11:45-12:00	ソリトン分裂波の数値計算の高精度化に向けた文献調査と提案	○佐藤兼太、横尾善之(福島大学共生システム理工学類)
12:00-13:00	昼食	
【9題】司会: 三戸部 佑太		
13:00-13:15	流域の気候・地理条件と濁水比流量の関係	○佐藤雄一、横尾善之(福島大学共生システム理工学類)
13:15-13:30	カラーパターン照明を用いた3次元浮遊砂濃度分布計測法の開発	○今田暹介(東北大学工学部)、三戸部佑太、田中 仁(東北大学大学院工学研究科)
13:30-13:45	流域に応じた土砂流出特性に関する研究	○伊藤圭祐 江坂悠里 川越清樹(福島大学共生システム理工学類)
13:45-14:00	脱生活污水中のCs-137の変動特性とモデリング	○三浦尚也、横尾善之(福島大学共生システム理工学類)
14:00-14:15	Analysis of sediment yield and sediment deposition in Lake Tuni, Bolivia	○Gabriela SOSSA LEDEZMA (Graduate student, School of Engineering, Tohoku University)、田中 仁(東北大学大学院工学研究科)、Francisco ROJAS ILLA (Technician, Institute of Hydraulics and Hydrology, Mayor de San Andres University)
14:15-14:30	Tuni湖における斜面形状と浮遊砂特性に関わる研究	○今泉直也 FabianaMercado(福島大学大学院共生システム理工学研究科) 川越清樹(福島大学共生システム理工学類)
14:30-14:45	泥火山噴出物流入に伴うインドネシア・ポロン川の河床変動	○森文章(東北大学工学部建築・社会環境工学科)、三戸部佑太(東北大学大学院工学研究科)、呉修一(東北大学災害科学国際研究所)、Suntoyo(Faculty of Marine Technology, Institut Teknologi Sepuluh Nopember)、梅田信、田中仁(東北大学大学院工学研究科)、有働恵子、真野明(東北大学災害科学国際研究所)
14:45-15:00	泥火山噴出物の流入部下流におけるポロン川の水質環境	○梅田信、森文章、田中仁、呉修一(東北大学)、Suntoyo (スラバヤ工科大学)
15:00-15:15	裏磐梯毘沙門沼融雪期の流入表流量と水質の関係	○三浦淳(福島大学共生システム理工学類)、渡辺泰世(福島大学大学院共生システム理工学研究科)、横尾善之、数崎志穂(福島大学共生システム理工学類)
15:15-15:30	休憩	
【7題】司会: 水田 敏彦		
15:30-15:45	自然災害から生じる判断力向上のための減災学習ツールの開発と効果の検証-減災ポケット「結」と災害模擬体験ブック-	○保田真理、今村文彦、サツパシー アナワット(東北大学災害科学国際研究所)
15:45-16:00	秋田県における地域特性を考慮した防災教育についての検討: 小学校の児童・保護者・教職員を対象としたアンケート調査を基に	○伊藤あさみ(秋田大学工学資源学部土木環境工学科)、鎌滝孝信(秋田大学地域創生センター)、渡辺一也(秋田大学工学資源学研究科土木環境工学専攻)
16:00-16:15	秋田工業高等専門学校の学生を対象とした通学中の津波防災に関するアンケート調査	○星野翔磨(秋田工業高等専門学校環境システム工学専攻)、寺本尚史(秋田工業高等専門学校)
16:15-16:30	石巻市立鹿妻小学校における災害復興教育の実践 -『復興マップづくり』プログラム-	○徳山英理子(東北大学)、桜井愛子(神戸大学)、村山良之(山形大学)、佐藤 健(東北大学)
16:30-16:45	「災害復興教育プログラム」における教育的効果の評価に関する研究	○濱岡恭太、徳山英理子、佐藤 健(東北大学)
16:45-17:00	山形県小国益地西縁沖庭山系における崩壊地形の形成過程と年代 -山形県立小国高校第一学年「地域文化学」における研究活動を通じた防災教育の取り組み-	○川辺孝幸(山形大学地域教育文化学部)、高梨里子(山形県立小国高校)、高橋 史(現山形県立霞城学園高校)、「地域文化学」第1班2011年度・2012年度・2013年度履修生(山形県立小国高校)
17:00-17:15	ヒマラヤ山麓の小学校における防災教育実践-斜面・土石流災害を対象として-	○村山良之(山形大学大学院教育実践研究科)、八木浩司(山形大学地域文化教育学部)